

地域密着型サービス 活動報告

事業所名：湯の郷苑 小規模多機能型居宅介護事業所

サービス種類：☐グループホーム ・ ☒小規模多機能型居宅介護

☐地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

☐地域密着型通所介護 ・ ☐認知症対応型通所介護 （該当に☒）

日 時：令和 6 年 6 月 28 日（金） 14：00～15：00

場 所：湯の郷苑 だんらん

出席者：

利用者代表	0 名	知見を有する者	1 名
利用者家族	1 名	大田市職員	1 名
地域住民の代表	1 名	その他	名
事業所職員			2 人

（１）利用者の状況

① 登録者数

R6. 4 月末	登録者数	12 人	R6. 年 5 月末	登録者数	13 人
	男女比	5：7		男女比	5：8

② 地域別登録者数 （R6. 5 月末）

温泉津町	12 名
仁摩町	0 名
その他	1 名

③ 要介護度別 （R6. 5 月末時点）

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
1 名	2 名	4 名	5 名	1 名	0 名	0 名

④ 生活状況 (R6.5月末時点)

世帯	人数	内容
同居	1名	県外に住む3姉妹が1か月交代で帰省し介助
	3名	子供同居
	1名	夫と同居
独居	4名	近所に子があり支援がある
	4名	家族は市外、県外在住
宿泊	0名	

⑤ 年齢別 (R6.5月末時点)

65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上 85歳未満	85歳以上 95歳未満	95歳以上	平均年齢
0名	1名	2名	9名	1名	87.0歳

⑥ 利用回数 (R6.4月分)

	利用回数(延べ)	一人平均(回)	一日平均(回)
通い	138回	11.5回	4.6/回
宿泊	18回	1.5回	0.6/回
訪問	78回	6.5回	2.6/回
全サービス(一人当たり)		4.82	(登録者延数 340)

⑦ 利用回数 (R6.5月分)

	利用回数(延べ)	一人平均(回)	一日平均(回)
通い	149回	12.4回	4.8/回
宿泊	21回	1.75回	0.6/回
訪問	79回	6.5回	2.5/回
全サービス(一人当たり)		4.88	(登録者延数 357)

5月末利用者1名の為一人平均回数は12人で割りました。

・長期宿泊者…なし

1. 議題

①活動状況報告

R6.4月(行事) つつじ見学

(委員会) 安全衛生委員会、感染症対策委員会

身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会、事故防止委員会

令和 6 年度第 1 回運営推進会議

事業者協議会総会

(研修) 倫理、法令遵守、プライバシーの保護オンライン研修

R6. 5 月 (行事) 夜間想定避難訓練(消防署指導あり)

(委員会) 安全衛生委員会

身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会

小規模部会

(研修) 令和 6 年度第 1 回感染症研修会

②感染症の取り組み

マニュアル作成後それに基づき感染対策を行っております。小規模感染予防のチェックリストは事業所用と職員用のものを毎日記録し、感染防止の徹底を行っています。面会希望の時は健康状態を確認し、健康であれば、換気した部屋で 15 分間厳守し行う。

③通院支援 (R6. 4 月, R6. 5 月分合計)

受診送迎・受診同席	2 回
-----------	-----

④事故報告

令和 6 年 4 月

判断ミス：介護士が巻き爪を切り痛みの訴えがあった。

誤薬：昼の残薬を夕方に飲んでもらい、夕方はいつものように設置して帰った。

転倒：ホール内で転倒。

車輛事故：自宅玄関の門にミラーをぶつけ破損させてしまった。

令和 6 年 5 月

誤薬：昼の訪問忘れを夕方に気づき夕方に訪問し服薬提供した。時間帯がずれているが自己判断で提供した。

伝達ミス：預かるはずの吸入薬を鞆に入れ返した。吸入薬を探せず朝の吸入ができなかった。
--

服薬忘れ：昼薬の提供を忘れていた。翌日の朝飲んでいないことに気づいた。

⑤苦情報告

なし

⑧ 今後の活動予定

R6, 6月(行事)

(委員会) 安全衛生委員会

身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会

第2回運営推進会議

(研修) 虐待防止オンライン研修, 身体拘束オンライン研修

R6.7月(行事) 夏祭り 7/22, 23予定。

(委員会) 安全衛生委員会、感染症対策委員会

身体拘束廃止委員会, 事故防止委員会、虐待防止委員会

(研修) 感染に関する研修, 救急救命講習(実習)

主任介護支援専門員更新研修

2. 意見、要望等

行政より

利用回数について、一人当たりの平均値が出ており、4回以下の過少サービスとなっていないことは良いと思われる。今後について全体の数値だけではなく、個人別の数値にも焦点を当ててもらいたい。過少サービスとなっている利用者もいると思われる。利用者に対して何故、過少サービスとなっているのか、理由を分析してもらい、記載してもらえるとより分かりやすいと思われる。

→今後、過少サービスとなっている利用者についての理由等を検証していき、運営推進会議へと上げていきたいと思う。

利用者家族より

事業所周辺にサルが多く、移動時などに違憲性を感じているとの事。

対応を検討してもらいたいと意見あり。

→事業所から法人へ意見を上げて対応を検討してもらうこととする。

法人内で検討。サル駆除となるもの(オオカミのおしっこ)を購入し、設置することとした。

運営推進会議委員より

事業所周辺の草が多く、ヘビ等の危険性も考えられるため、草刈りをしたほうが
いいとの事。

→敷地内においては法人内で調整を行い、順次、草刈りを行う予定となっている。
川向こうや川沿いについては県の管轄となっていることを伝え、委員メン
バーより地域等に声掛けを行ってみるとの返答あり。

また、事業所内で検討。地域からの声として行政へ連絡、相談することとした。

3. その他

6月1日より管理者の変更有。

事業所見学会あり。委員メンバーより実際に事業所へ来たことはないとのことで
あり、事業所見学をされ、良いところだと意見をもらう。またモニターについての
活用について好評であった。

次回の予定

令和6年度 第3回運営推進会議

令和6年 8月23日（金）